

SILK NETWORK

シルク通信 No.3

シルクロード・ネットワーク



シルクロード・
ネットワーク協議会
2024年1月発行



神戸港クルーズ船「CONCERTO」の前で。神戸フォーラム2023(2023年2月25日)

「シルクロード・ネットワーク 横浜フォーラム2023」 開催に向けて

公益社団法人横浜歴史資産調査会常務理事

米山 淳一（シルクロード・ネットワーク協議会事務局長）

シルクロード・ネットワーク協議会が設立されたのは約10年前の2015年3月です。絹文化の足跡を後世に伝え残すことを目的に、絹文化を地域活性化に活かすための手立てを多くの地域と連携し、さぐっていくための活動組織として設立しました。

設立以来、新庄市、福島市、鶴岡市、南砺市、神戸市と過去6回フォーラムを開催してまいりましたが、今回、第1回目の開催地である横浜に戻り、第7回を開催いたします。

今日の横浜の発展は、世界に向けた絹貿易で稼いだ原資に支えられ、絹産業によって築きあげられた建造物をはじめとする絹遺産が多く残されていますが、近年の都市開発の中で、この歴史が忘れかけられているのが現状です。

昭和63年(1988)以来、横浜の歴史をいかしたまちづくりを横浜市都市デザイン室と両輪で開始し、微力ながら歴史的建造物などの登録、認定に力を注いでいるにも関わらず、横浜

では、絹遺産が失われているのです。例えば、近年では三井物産横浜支店の赤煉瓦造りの倉庫(元日東倉庫)や帝蚕倉庫などの絹関連遺産である歴史的建造物が次々に取り壊され、横浜で絹遺産関連の歴史的資産に出会うことが難しくなってきました。それでも三溪園をはじめ貿易商の住居である山手西洋館ほかまだまだ多くの歴史的資産が保全されていますが、楽観視してはいけません。

そこで、世界に冠たる横浜の絹遺産に再びスポットを当てる意味も含め、また絹遺産を横浜の歴史を生かしたまちづくりに活用する新たな仕組みづくり、さらに将来にわたり全国の絹文化に関わる皆さんとのより強固なネットワーク活動の推進に向けた足固めとして横浜フォーラムを開催したいと思います。多くの皆さまの参加と叡智をよろしく願い申し上げます。